

鳴瀬川水系長堀川 洪水浸水想定区域図（計画規模）

位置図



- 1 説明文**
- この図は、鳴瀬川水系長堀川の下記区間について、水防法の規定に基づき計画降雨により浸水が想定される区域、浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。
 - この洪水浸水想定区域等は、指定時点の長堀川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、洪水防御に関する計画の基本となる年超過確率1/50（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/50（2.0%））の降雨に伴う洪水により長堀川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。
 - なお、このシミュレーションの実施にあたっては、支川の（決壊による）氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨による氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この洪水浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。
- 2 基本事項等**
- 作成主体 宮城県
 - 指定年月日 令和5年5月30日
 - 告示番号 宮城県告示第417号
 - 指定の根拠法令 水防法（昭和24年法律第193号）第14条第2項
 - 対象となる河川
鳴瀬川水系長堀川（実施区間）
左岸： 宮城県大崎市三本木蒜袋字東谷地の長堀川橋から多田川への合流点まで
右岸： 宮城県大崎市三本木蒜袋字鷺沼の長堀川橋から多田川への合流点まで
 - 指定の前提となる降雨
多田川流域の48時間総雨量 265.9mm
 - 関係市町村 大崎市

大崎市

凡例

浸水した場合に想定される水深(ランク別)

- 0.5m未満の区域
- 0.5m～3.0m未満の区域
- 市町境界
- 実施区間

